

富山大学

人間発達科学研究実践総合センター紀要

教育実践研究

第11号

平成28年12月

論 文	目 次
社会的な見方や考え方を成長させる中学校社会科授業の可能性岡崎 誠司・大浦 瑞紀 1	
体験回避と非行傾向行為 —家族における心理的居場所を含めて—石津憲一郎 15	
第二反抗期経験の有無と過剰適応が青年期後期の心理的自立と対人態度に与える影響二森 優希・石津賢一郎 21	
大学生の自己愛傾向がTwitter利用におけるストレス反応に及ぼす影響安中 幸恵・石津憲一郎 29	
粒子像は圧力概念の形成に貢献できるか —小学校理科における事例研究—土井 徹 37	
映像制作実践の意義：「メディアコミュニケーション演習」（2016年度）の取り組みから鼓 みどり 45	
家庭科における家庭保育に関する内容の扱われ方 —大学生を対象にした調査の結果をもとに—西館 有沙 57	
小学校音楽科における東アジア民族音楽鑑賞指導での教科書活用の提言 —教師の指導力の向上を目的として—村井 宏志・坂本麻実子 65	
幼児の豊かな身体表現を育む環境づくり —TV番組「わ〜お!」の分析と活用を通して—澤 聡美・千田 恭子・齋藤 友紀・吉田 智美 73	
自閉スペクトラム症幼児の母親を対象としたストレスコーピングの違いによる ペアレント・プログラムの効果水内 豊和・島田 明子・成田 泉 81	
知的・発達障害成人の選挙をめぐる現状と課題 —保護者を対象とした意識調査から—大井ひかる・成田 泉・島田 明子・水内 豊和 87	
学校現場におけるネットワーク型OJTの実践 —富山県総合教育センターの調査研究から—笹田 茂樹・中崎 圭子・作道 正也・山本 幸弘 93	
知的障害特別支援学校高等部における主権者教育についての一試案 —「そうだ、選挙に行こう!」の実践から—栗林 睦美・松原 健・松原 香織・和田 充紀・水内 豊和107	
知的障害特別支援学校における主権者教育に関する現状と課題 —全国国立大学附属特別支援学校を対象とした質問紙調査から—和田 充紀・水内 豊和115	
園外で自然体験活動を計画する際の留意点について —サマーチャレンジの活動実践を通して—小林 真・岩田 郁代・米崎 瑛美・稲垣恵美子・舟林 美乃・高島 浩美・ 神川 瑞子・中田 良子・山村 弘美・廣田 仁美・島田みどり123	
情報処理教育における「一人TT」授業の開発と評価 —授業者自身が解説するビデオ教材を利用した授業改善の試み—小川 亮・上木佐季子133	
高等学校の世界史教育と大学の歴史学 —歴史教育の接続の観点から—徳橋 曜・小林 真143	

富山大学人間発達科学部附属人間発達科学研究実践総合センター紀要投稿要項

平成 20 年 7 月 16 日制定

平成 28 年 4 月 1 日改正

1 紀要編集

センター紀要編集委員会（「以下「委員会」という。」）では、人間発達科学部附属人間発達科学研究実践総合センター（以下「センター」という。」）の紀要として、毎年度に 1 号の原稿を募集し、編集を行なう。

2 著者の資格

- (1) 人間発達科学部（以下「学部」という。）の専任教員
- (2) 大学院教職実践開発研究科（以下「研究科」という。）の専任教員
- (3) 学部附属学校園の専任教員
- (4) 編集委員会が認めた者、学部及び研究科の専任教員との連名で投稿する者

3 原稿の内容

- (1) 投稿原稿は、未発表のものとする。
- (2) 教育実践にかかわる理論的実践的研究に関する論文、報告、資料、その他とする。
 - ①論文とは、新たな発見また見解を示した研究成果を論述したものをいう。
 - ②報告とは、授業実践報告などをいう。
 - ③資料とは、研究レビューや紹介、総説などをいう。
 - ④その他とは、上記①から③以外のものをいい、著者が投稿の際にその名称を申告する。
- (3) 著者は、原稿の種類（論文、報告、資料、その他）を申告する。
- (4) 著者は、原稿枚数が別に定める基準を超える場合には、原則として経費を負担するものとする。

4 投稿と受領

- (1) 原稿の締め切り日は、8 月 31 日とする。但し、その日が土曜日の場合は、翌々日、日曜日の場合は、翌日とする。
- (2) 投稿カードに所定の事項を記入のうえ、原稿 2 部と原稿を記録した電子メディアをセンター事務室に提出する。

上記の 2 の（3）による者は、その所属研究機関あるいは勤務先を記入する。

5 原稿の受付

- (1) 本委員会では、投稿された原稿について、本要項と執筆要項に照らしてその要件を満たしているならば、受け付ける。

6 修正と受理

- (1) 本委員会では、受け付けた原稿について査読する。

- (2) 本委員会では、原稿について、本委員会外にも意見を求めることができる。
- (3) 本委員会は、原稿の訂正を著者に求めることができる。
- (4) 原稿の採否は、本委員会が決定する。
- (5) 本委員会で採用を決定した年月日をもって、受理年月日とする。

7 校正

- (1) 校正は、著者の責任において所定の期間までに、初校及び再校を行なう。
- (2) 校正時における原稿の修正は認めない。
- (3) 三校以降は、委員会の責任で行なう。

8 二次利用

掲載された原稿の二次利用は、本委員会に委ねるものとする。

富山大学附属人間発達科学研究実践総合センター紀要執筆要項

平成 20 年 7 月 16 日制定

1 原稿の形式

- (1) 1 篇として成立し、分割されていないものとする。
- (2) 言語は原則として日本語、英語とし、その他紀要編集委員会で認めるものとする。
- (3) 母国語以外を用いるときは、校閲を受けることが望ましく、著者より依頼する。
- (4) 現行の表記法を用いる。
- (5) 単位、及び単位記号は、原則として M.K.S 単位系を用いる。

2 原稿の書式と体裁

- (1) 1 篇につき、図・表・写真等を含め、刷り上り 14 頁以内とする。やむを得ず制限を超える場合は著者の負担で掲載を認める。
- (2) 原稿の体裁は、書式見本（別紙）を基本とする。
- (3) 上記が困難な場合は、A4 判用紙に 32 字×25 行で印字する。図表がある場合は、そのまま印刷可能なものを添付すること。
- (4) 投稿論文数は、筆頭者 1 人につき、各号 1 篇とする。筆頭者による 2 篇以上の投稿については、編集委員会が審議して掲載の可否を決め、第 2 篇からは著者の負担で掲載を認める。

富山大学人間発達科学研究実践総合センター紀要
教育実践研究 編集委員会

委員長 千 田 恭 子
委 員 石 津 憲一郎
小 川 亮
上 山 輝
岸 本 忠 之
近 藤 龍 彰
佐 藤 徳
高 橋 満 彦
徳 橋 曜
長谷川 春 生

富山大学人間発達科学部附属人間発達科学研究実践総合センター紀要
教育実践研究 第11号

平成28年12月16日 発行

編集兼 富山大学人間発達科学部
発行者 附属人間発達科学研究実践総合センター
〒930-8555 富山市五福3 1 9 0
TEL (076) 445-6380
印刷所 株式会社なかたに印刷
〒939-2741 富山市婦中町中名1554-23
TEL (076) 465-2341

“*KYOIKU JISSEN KENKYU*”

BULLETIN OF THE CENTER OF EDUCATIONAL RESEARCH AND PRACTICE UNIVERSITY OF TOYAMA

No. 11

December. 2016

CONTENTS

Original Articles

- Development of a Lesson in Junior High School Social Studies for the Growth of Social Knowledge and Value
..... Seiji OKAZAKI, Mizuki OURA 1
- Experiential avoidance, belongingness of family and adolescent delinquency.
..... Kenichiro ISHIZU 15
- Period of rebelliousness and over-adaptation: effects on psychological independence, fears of abandonment
..... Yuuki NIMORI, Kenichiro ISHIZU 21
- Influence of university students' narcissism on stress responses on using twitter.
..... Yukie ANNAKA, Kenichiro ISHIZU 29
- Whether the Particulate Picture can Contribute to the Construction of the Pressure Concept?
— Case Study in Elementary School Science —
..... Toru DOI 37
- Importance of Video Production: Case Study of the Seminar of Media Communication
..... Midori TSUZUMI 45
- Contents of Family life and Childcare in Home Economics :
Based on questionnaire survey to students of university
..... NISHIDATE Arisa 57
- A study of textbook use of the East Asian folk music appreciation teaching in elementary school music department
— For the purpose of improving the leadership of the teacher —
..... Hiroshi MURAI , Mamiko SAKAMOTO 65
- Creating an Educational Environment for Children's Expressive Body Movement
..... Satomi SAWA, Kyoko SENDA, Yuki SAITO, Satomi YOSHIDA 73
- Effects of “Parent Program” for Mothers who have Children with Autistic Spectrum Disorder
: Difference between the Types of Stress Coping
..... Toyokazu MIZUUCHI, Akiko SHIMADA & Izumi NARITA 81
- Issues about Election for Persons with Intellectual and/or Developmental Disabilities :
Questioner Survey for Their Caregivers
..... Hikaru OI, Izumi NARITA, Akiko SHIMADA & Toyokazu MIZUUCHI 87
- Practices of OJT with Human Network on Schools
— On a Practical Study in the Toyama Pref. General Education Center —
..... SASADA Shigeki, NAKAZAKI Keiko, SAKUDO Masaya, YAMAMOTO Yukihiro 93
- The Practical Study about Election Education for Students with Intellectual Disabilities at the High-School
Class Level in the Special School: A Trial Study
..... Mutsumi KURIBAYASHI, Ken MATSUHARA, Kaori MATSUBARA, Miki WADA & Toyokazu MIZUUCHI 107
- Issues about Political Education at Special Schools for Students with Intellectual Disabilities :
Questioner Survey for the Attached Special School
..... Miki WADA & Toyokazu MIZUUCHI 115
- Consideration when planning outdoor activities in Kindergarten : A case study of Summer-Challenge activities
..... Makoto KOBAYASHI, Ikuyo IWATA, Emi YONEZAKI, Emiko INAGAKI, Yoshino FUNABAYASHI,
Hiromi TAKASHIMA, Mizuko KAMIKAWA, Ryoko NAKADA, Hiromi YAMAMURA,
Hitomi HIROTA and Midori SHIMADA 123
- Development and Evaluation of “Team Teaching by Oneself” Method in Information Processing Education
- A Trial Educational Improvement using VTR in which Teacher herself make comments -
..... Ryo OGAWA , Sakiko UEKI 133
- High School Education of the World History and Historical Studies in the University
— From the Viewpoint of Connection between Two Types of Historical Education —
..... Yo TOKUHASHI, Makoto KOBAYASHI 143